

21年度活動実績

【 通 年 事 業 】

◇会議 担当リーダー会議	12回（毎月1回）	サポートちた
スタッフミーティング	12回（毎月1回）	サポートちた
◇理事会	6回（奇数月第3木曜）	知多市市民活動センター
◇市民活動センター運営会議	12回（毎月第1水曜）	知多市市民活動センター
◇NPOアドバイザー		
知多市アドバイザー	139件（定例毎週水曜日、ほか隨時）	知多市市民活動センター
東海市アドバイザー	25件（隨時）	東海市市民活動センター
一宮市アドバイザー	11件（隔月1回）	一宮市市民活動支援センター
長久手町アドバイザー	8回（隨時）	長久手町まちづくりセンター
◇ホームヘルパー2級養成研修講座		
第1回(土日コース)	5/23～9/12	NPO法人りんりん、第二端光の里
第2回(社会福祉協議会)	7/18～10/23	雁宿ホール、日福大半田校
第3回(平日コース)	10/1～2010.1/14	知多市市民活動センター
第4回(日福大コース)	2010.1/29～4/24	日本福祉大学美浜校
名古屋短期大学 通信コース	5/25～9/1	名古屋短期大学
◇介護福祉士対策講座	10/4～2010.3/6	知多市市民活動センター
◇行動援護従業者養成講座	①8/27・28・29 ②11/15・22・29 ③1/16・17・24	知多市市民活動センター
◇NPOマネジメントセミナー	11回（5月～2月第3金曜、番外編1回）	知多市市民活動センター
◇すっきりわかるNPO入門講座	8回 8/26～12/12	知多市市民活動センター
◇NPO現場見学バスツアー		
通常バスツアー	12回（毎月1回）	
オプショナルバスツアー	24回（隨時）	
◇日本福祉大学NPO協働型サービスラーニング	2009.4～2010.3	日本福祉大学美浜校
◇知多市団塊世代キャリア活用事業「大人の学校」	37回 4月～2月	知多市市民活動センター
「大人の学校」実行委員会	10回	知多市市民活動センター
「大人の学校」学級委員会	9回	知多市市民活動センター
「大人の学校」拡大実行委員会	9回	知多市市民活動センター
◇運動クラブ「ふいっと」	13回（毎月1回 8月・1月休み、臨時3回）	知多市民体育館
◇一宮市NPO講座「いちのみや地域のチカラアップ塾」	6回（10月～12月）	一宮市
◇協働ロードマップ策定の事務局運営業務	5回 2009.8～2010.2	知多市市民活動センター
◇あいちシルバーカレッジ 講師派遣	5回（9/30、11/5、12/4、18、1/20）	名古屋、岡崎、一宮、豊橋
◇ハート＆ハンズ事業	2009.8～2010.3	
包括支援センターとNPOとの意見交換会	3回	
各市町包括とNPOの情報交換会	13回	知多半島内各市町
講演・講座・バスツアー	3回 12/15、1/18、3/3	
◇行政職員NPO現場体験研修	6日間×14人、5日間×2人、10日間×1人	知多市市民活動センター
◇大学生NPOインターンシップ	10日間×4人	知多市市民活動センター
◇名古屋短期大学講義「ボランティアワーク」	15回	名古屋短期大学

【 月 別 実 績 】

4月

- 9 2市2町自立支援協議会就労支援作業部会 <やまもも授産所>
東海市男女共同参画打合せ
- 16 知多市子育て審査会 <知多市役所>
- 23.24 日本福祉大学サービスラーニング受入団体説明会
- 25 たすけあいセンター絆開所 <東浦町>
刈谷市民活動センター「車座集会」講師 <刈谷市>
- 28 めいきん生協福祉基金運営委員会
市町村NPO担当者会議 <ウィルあいち>

5月

- 8 会計監査
- 13 2市2町自立支援協議会(親会議)
「ざっくばらんに英会話」 <Ada-coda>
- 14 一宮NPO講座説明会 <一宮市役所>
武豊町社会福祉協議会 講演
- 22 サポートちた総会 <知多市市民活動センター>
- 23.24 愛フェス「共感型プレゼンテーション強化プログラム」研修
<愛知県青年の家>
- 25 行政訪問 常滑市
- 26 NPO法人岡崎まち育てセンター・りた 来訪
- 27 東海市男女共同参画会議 <東海市>
- 28 行政訪問 武豊町・美浜町・南知多町
- 29 行政訪問 半田市・東浦町
あいち未来塾 参加
- 31 安城市民活動センター「わくわくサロン」 講師 <安城市>

6月

- 1 行政訪問 阿久比町
一宮活動助成報告会 <一宮>
- 2 一宮NPO講座プレゼン
行政訪問 東海市
- 4 2市2町自立支援協議会就労支援作業部会 <やまもも授産所>
東海市男女共同参画推進啓発・情報発信事業
- 5 行政訪問 大府市
- 6 コミュニティー研修会 <知多市市民活動センター>
- 11 市民活動センター除草作業
知多市職員研修
- 13 あいち未来塾 参加
- 17 サポートちた10周年記念誌打合せ
- 18 知多市市民活動推進課 訪問
- 20 愛フェスCMプレゼン
- 24 マナー講座
- 25 サポートちた10周年記念誌打合せ
協働ロードマッププレゼン
- 26 あいち未来塾 参加
- 27 知多市男女共同参画社会意識調査検討会

7月

- 1 愛知県現場体験型研修事前説明会
- 2 さわやか福祉財団研修 参加 <静岡>
- 4 知多市まちづくり勉強会 <知多市勤労文化会館>
- 4 10周年記念映画下見 <鎌倉>
- 5 知多市提案事業審査会
- 8 「ざっくばらんに英会話」 <Ada-coda>
- 20 NPO法人もやいモーちゃんハウス開所
- 21 青少年ボランティア市民活動体験事業説明会 <福祉活動センター>
- 25 知多市男女共同参画社会意識調査検討会
- 28 愛フェス2009参加団体事前説明会 <なごや地球ひろば>
- 29 青少年ボランティア市民活動体験事業説明会 <福祉活動センター>

8月

- 1・2 愛フェス知多地域イベント <半田市雁宿ホール>
- 2 サポートちた10周年記念セレモニー <半田市雁宿ホール>
サポートちた10周年記念映画「降りてゆく生き方」 <半田市雁宿ホール>
- 4 成年後見運営会議
半田講演会
- 5 東海市男女共同参画推進啓発・情報発信事業
総合ボランティセンター運営会議
- 7 講演会「就労移行」 <大府市勤労文化会館>
地域協働促進研修説明会 <ウィルあいち>
- 8 知多市まちづくり委員会
- 10 知多市総合計画審議委員会
- 11.12 リーダー研修 <神奈川県>
- 13-15 夏期休業
- 18.21 キャリア教育コーディネーター研修
- 21 知多市都市計画会議
- 28 一宮NPO講座打合せ
- 29.3 あいち未来塾合宿 参加

9月

- 2 ゆずりは打ち合わせ <豊田市>
- 5 モリコロ実績報告会 <モリコロパーク>
- 5.6 愛フェス2009参加 <モリコロパーク>
- 10 愛光園評議委員会
- 11 地域協働促進研修実施事業プレゼン
- 12 知多市まちづくり会議 <勤労文化会館>
- 13 ぎふ市民助成、審査、運営委員会 <岐阜>
- 16 2市2町自立支援協議会就労支援作業部会 <やまもも授産所>
- 19 福祉教育フォーラム <曰福／鶴舞>
- 20 「降りてゆく生き方」いいたい放題会 <知多市市民活動センター>
- 24 知多地域フィールドスタディー会員団体下見
- 26 あいち未来塾 参加
- 29 地域協働促進研修実施事業事前打合せ

10月

- 3 ファシリテーション基礎講座 参加
4 知多市職員研修打合せ
6 一宮市市民活動支援制度運営委員会 <一宮>
知多市職員研修 <知多市役所>
9 社会教育主事研修会
14 自立支援協議会
17 Ada-codaまつり <知多市市民活動センター>
知多市まちづくり会議 <勤労文化会館>
在宅ケアを支える診療所市民全国ネット会議 <名古屋>
19 自治研修所「NPOと行政の協働」 <愛知県自治研修所>
23 寺本台サロンオープン
24 あいち未来塾 参加
24.25 知多市健康・福祉フェスティバル参加 <知多市市民体育館>
26 名勤生協運営委員会
自治研修所「NPOと行政の協働」 講義
東海市男女共同参画推進セミナー
27 一宮市市民活動支援制度運営委員会 <一宮>
29 講演「ボランティアから始まる」 <津島市>
東海市センター登録団体交流会 <東海市市民活動センター>
31 福祉のまちづくりリーダー育成講座 <COMBi本陣>

11月

- 5 サービス提供責任者情報交換会 <NPO法人もやい>
7 福祉のまちづくりリーダー育成講座 <COMBi本陣>
9 知多市NPOセンターのあり方検討会 <知多市市民活動センター>
10 一宮市市民活動支援制度運営委員会 <一宮>
10.11 ワンデイシェフ全国フェスティバル 参加 <四日市>
11 知多市総合ボランティアセンター運営委員会
21 飛島村男女協働サテライトセミナー <飛島村>
22 知多半島支援センター情報交換会 <知多市市民活動センター>
27 就業規則講座 <知多市市民活動センター>
28.29 日本福祉教育・ボランティア学習会 <ウィルあいち>

12月

- 3 東海市男女共同参画推進啓発・情報発信事業
4 地域協働研修打ち合わせ
9 マナー講座中級編 <知多市市民活動センター>
あいち未来塾・運営委員会
知多市まちづくり会議 <知多市市民活動センター>
10 2市2町自立支援協議会就労支援作業部会 <やまもも授産所>
11 NPO支援センタースタッフ向け研修会 <名古屋>
14 愛知県地域協働促進研修実施事業 <ウィルあいち>
15 サポートちた10周年記念講演会 <知多市市民活動センター>
16 愛知県自治研修所 来訪 <知多市市民活動センター>
わがまちの縁側 訪問 <刈谷>
17 協働コーディネーター委託事業打ち合わせ
<長久手町まちづくりセンター>
19 あいち未来塾 参加
21 地域たすけあいの会つどい 訪問
25 知多市総合計画審議会 <知多市役所>

26~1/6 年末年始休業

1月

- 9 知多市男女共同参画社会意識調査検討会 <知多市市民活動センター>
11 東海市男女共同参画推進啓発・情報発信事業打ち合わせ <東海市>
13 マナー講座 <知多市市民活動センター>
常務理事会 <知多市市民活動センター>
16 あいち未来塾 参加
17 東海市男女共同参画推進啓発・情報発信事業フォーラム
<東海市しあわせ村>
ささえあい研修会 <日進市>
19 長久手ルールブック打ち合わせ <長久手町まちづくりセンター>
23 知多市協働促進事業・コミュニティリーダー研修会(1)
26 長久手町職員協働研修会 <長久手町まちづくりセンター>
27 NPOと行政のテーマ別意見交換会
30 知多市協働促進事業・コミュニティリーダー研修会(2)
30.31 あいち未来塾 参加
知多市男女共同参画社会意識調査検討会 <知多市市民活動センター>
えんがわフォーラム <大府>

2月

- 2 東海市センター講座 <東海市民活動センター>
3 ボランティアセンター運営委員会 <福祉活動センター>
4 NPOと行政の対話フォーラム 講師 <神奈川県民センター>
6 知多市まちづくり報告会 <知多市青少年会館>
12 チャレンジちた発表会
15 愛知県内支援センター情報交換会 <知多市市民活動センター>
16 都市計画マスター プラン策定委員会
自立支援協議会
愛光園評議委員会
あいち未来塾 参加
17 協働力パワーアップセミナー参加 <ウィルあいち>
18 一宮市市民活動支援制度審査会 <一宮>
19 NPOと行政の意見交換会 <知多市市民活動センター>
20 知多市男女共同参画社会意識調査検討会 <知多市市民活動センター>
21 長久手まちづくりセンター登録団体交流会 <長久手町>
24 知多市総合計画審議会 <知多市役所>
25 チャレンジちた委員会 <知多市役所>
26 福祉教育シンポジウム <大阪>

3月

- 2 テレビ愛知取材 打ち合わせ
4 東海市会計相談 <東海市>
ソーシャルビジネスメッセ <東京>
6 あいち未来塾卒塾式
7.8 筑波大学視察／明治学院大学ボランティアセンター視察
11 TV愛知 りんりん打ち合わせ
14 momoソーシャルワーカー資金借手編 <知多市市民活動センター>
19 まちづくり研究会「まちのわカフェ」 <知多市市民活動センター>
25 あいちルールブック・フォーラム <あいちNPO交流プラザ>
一宮市市民活動支援制度審査会 <一宮>

21年度事業報告



- 活動報告
- 事業報告一覽表(抜粋)

(通学)

期間・場所	下記の表の通り
対象	ホームヘルパーの資格取得を目指す方
参加者	148人
従事者	1人



基本介護技術の様子

安心と豊かさの実現できる地域福祉を担う人材育成、及び市民をはじめ、行政、企業の人々にNPOの理解と学びの場を提供することを目的に、半田会場で2回、知多会場で1回、日本福祉大学美浜キャンパスで大学生対象1回(春期講座)の計4回の講座を開催しました。半田会場の1回は、半田市社会福祉協議会から依頼され、初めて夜間コースという講座を開催しました。

場所	日程	受講者数	内容
半田会場 (NPO法人りんりん・第二瑞光の里)	第1回 2009年5月23日～2009年9月12日	一般40人	講義、演習 100時間 実習 4～5日
半田会場 (福富ホール・日福 半田キャンパス)	第2回 2009年7月18日～2009年10月23日	一般28人	
知多会場 (知多市市民活動センター)	第3回 2009年10月1日～2010年1月14日	一般39人	
日本福祉大学 美浜キャンパス	第4回 2010年1月29日～2010年4月24日	大学生40人	

(通信)

期間・場所	2009年5月25日～2009年9月1日
対象	名古屋短期大学 学生
参加者	13人
従事者	1人

通信講座は講義17科目(58時間)分を自宅で学習し、残りの4科目(42時間)と面接指導(6時間)をスクーリングと言う形で進めて行きます。名古屋短期大学に依頼され、2回目の通信講座となりました。

介護福祉士対策講座

期間	2009年10月4日～2010年3月6日(筆記対策6日、実技対策3日)
場所	知多市市民活動センター2階会議室
対象	福祉系高等学校を卒業された方、 3年以上介護等の業務に従事された方 NHK学園高等学校専攻を卒業された方
参加者	13人(筆記対策)、25人(実技対策)
従事者	1人

■□担当者のふりかえり□■

いつものことながら景気が悪くなると福祉に人々の目が向きます。今年は4回のヘルパー講座を開催しましたが、毎回定員いっぱいに近い受講生の申込がありました。ただ、これまで人と関わらない仕事を長くしてきた方もたくさん受講されていて、ヘルパーとして働くには難しいのではないかと思われる方も何名かいました。また、介護福祉士対策講座もこれまでに比べたくさんの方が受講されました。理由はこれまで実務経験が3年以上あれば国家試験を受験できていましたが、平成24年度からは実務経験3年の他に600時間の講座受講が必要となるため、今のうちに受験しておこうと考えている方が増えたためと思われます。今年もたくさんの方から合格の報告をいただき、とてもうれしく思います。

(竹内)

期 間	下記の表の通り
場 所	知多市市民活動センター2階会議室
対 象	ホームヘルパー2級以上の資格保持者
参 加 者	87人
従 事 者	1人

行動援護とは、知的障がいまたは精神障がいにより行動上著しい困難を有する障がい者等であって常時介護を要するものにつき、当該障がい者等が行動する際に生じ得る危険を回避するために必要な援護、外出時における移動中の介護その他の厚生労働省令で定める便宜を供与することをいう。

＜内 容＞

- 1日目 制度・サービス・障害特性・障害
理解・技術に関する講義
(NPO 法人ゆう 荻野ます美)
- 2日目 事例検討
(NPO 法人とーたす 西鶴園弥生)
- 3日目 事例分析
(NPO 法人ゆめじろう 出口 晋)

	日 程	会 場	受講者数
第1回	2009/8/27・28・29	日本福祉大学	41人
第2回	2009/11/15・22・29	一宮市	28人
第3回	2010/1/16・17・24	知多市	18人

■□担当者のふりかえり□■

全国中央セミナーの講師により最新の情報で講座を開催している。今年度は、発達障がい理解の啓発活動を精力的に行っている荻野ます美氏を講師に迎えることができ、1日目の障害特性の理解の内容もさらに充実してきた。受講者の傾向として、知多半島の人は少なく、とくに名古屋市、一宮市が多かった。3日間の短期講座なので、これからもニーズに合わせて会場を設置し、より多くの方に受講してもらいたい。

(五十嵐)

NPOマネジメントセミナー

期 間	2009年5月～2010年2月(毎月第3金曜日)
場 所	知多市市民活動センター
対 象	どなたでも
テ ー マ	成熟した市民社会を目指した新たな展開
参 加 者	延べ224人



第3回講座の様子

日 程	内 容	講 師
5月15日	住民自治のための市民経営	松下典子(NPO法人地域福祉サポートちた代表理事)
6月19日	グループホームの増設	佐々木幸雄 (NPO法人東海市在宅介護家事援助の会ふれ愛 理事長)
7月17日	イメージキャラクターを用いた広報	大久保智規(NPO法人エンド・ゴール理事長)
8月21日	後継者育成～ミッションの共有～	竹田加津子(NPO法人あかり 代表理事)
9月18日	ニーズに応えた活動の展開	出口晋(NPO法人ゆめじろう代表理事)
10月16日	地域資源を活かした障がい者の仕事づくり	戸枝陽基(社会福祉法人むそう 理事長)
11月20日	地域に根ざした活動	石川亜紗美(NPO法人チャレンジ)
11月27日	番外編「就業規則」中小企業労働契約支援事業	小藤省吾(小藤経営労務事務所)
12月15日	NPO法人地域福祉サポートちた10周年記念講演	上野真城子(関西学院大学総合政策学部 大学院研究科教授)
1月15日	「地域たすけあいセンター絆」新設	山崎紀恵子(NPO法人絆 代表理事)
2月19日	NPOと行政との意見交換会	松下典子(NPO法人地域福祉サポートちた代表理事)

NPO 現場見学バスツアーは、知多半島にある NPO の現場を参加者自体の目で見て、聴いて、感じてもらう事を目的としています。会員団体の中からだいたい 4~5 団体を毎回見学させていただいている。

(定例バスツアー)

日 程	2008 年 4 月～2009 年 3 月(全 12 回)
場 所	知多半島内の NPO 活動団体のうち 1 回に 4~5 団体
対 象	NPO に興味・関心のある方
参 加 者	146 人



NPO 法人ゆいの会

4 月: 5 人	5 月: 5 人	6 月: 16 人	7 月: 13 人	8 月: 16 人	9 月: 16 人
10 月: 17 人	11 月: 15 人	12 月: 11 人	1 月: 8 人	2 月: 5 人	3 月: 19 人

(オプショナルバスツアー)

日 程	右表の通り
場 所	定例バスと同様
開催回数	24 回
参 加 者	392 人

右記のような委託バスツアーも開催しました。

これは、みなさまのご要望にお応えし、別注で企画するツアーで人数によって小型バス、中型バス、また遠方からのバスに同乗しご案内するものなど、臨機応変に対応するツアーです。

サポートしたの研修やイベントに組み込んだものもあれば、他の組織が企画した研修のプログラムの一つとしてバスツアーを利用していただくこともあります。これから何かを始めようと思っている方々の背中を押す力となっているようです。

今年も遠方からの申し込みが多数あり、多くの人に参加いただきました。

＜年間スケジュール＞

日程	団 体	参加者
4/30	日本福祉大学サービスラーニング	23 人
4/30	"	23 人
5/7	"	23 人
5/7	"	24 人
5/15	三好町職員	18 人
7/8	三好町社会福祉協議会	6 人
7/16	大人の学校	18 人
7/23	"	22 人
8/6	愛知県職員	8 人
8/7	東浦町(一般市民)	14 人
8/25	英國リーズ(日本福祉大学)	6 人
8/27	愛知県職員	8 人
8/29	NPO法人エフ・エー	3 人
8/31	ぎふ町屋情報バンク・岐阜大学(コミュニティ)	31 人
9/4	全国社会福祉協議会	12 人
9/26	トヨタ車体	23 人
10/3	とよた市民活動センター	18 人
10/23	扶桑町(コミュニティ)	18 人
10/28	東海市(コミュニティ事務局員)	18 人
10/28	尾張旭市(コミュニティ)	19 人
1/18	5 市 5 町包括支援センター	14 人
1/23	知多市(コミュニティリーダー研修)	20 人
3/1	東浦町(一般市民)	18 人
3/15	NPO法人ゼロ・パワー	4 人

■□担当者のふりかえり□■

今年度も前年同様、定例バスツアーだけでなくオプショナルバスツアーが 24 回もあり、大変好評でした。

本年度は企業やコミュニティからの依頼もあり、愛知県外からの参加者も増え、知多半島のネットワークが様々な地域で注目されているのではないかと思います。今後も行政、企業、市民団体など、たくさんの方々の研修にご活用いただければと思います。

(後藤)

期 間	2009年4月～2010年1月
場 所	日本福祉大学 美浜キャンパス
対 象	日本福祉大学2年生
参 加 者	88人(4クラス)

日本福祉大学社会福祉学部2年次教育において学生が知多半島にあるNPO法人を活動先に社会活動を行うことで、学生の自己形成力(学ぶ力・コミュニケーション力・問題解決能力)を高め、「市民性」を育むこと、知多半島の地域活性化につなげること等を目的とする。



《活動内容》

①地域ニーズの把握	◆NPOバスツアー(2009年4月30日、5月7日) 今日的な地域社会の生活課題を調査・把握
②社会貢献の企画	◆活動先との事前打ち合わせ会(2009年6月17日) 自分たちに何ができるかを具体的な企画として提案
③社会貢献活動	◆実際の地域の中で貢献活動を実施(2009年8月から9月12日までの間、原則6日)
④活動のふりかえり	◆事後指導(2009年10月21日)
⑤学習のまとめ	◆活動報告会(2009年12月12日) 関係者と一緒に介して学習成果のプレゼンテーションをおこなう

【活動先NPO一覧】

あんだんて みんなの家ほっと ふれあいネットワーク美浜 はっぴいわん大府 もやい エンドゴール
地域福祉サポートちた 知多地域成年後見センター りんりん ふわり チャレンジド ベタニアホーム
らいふ ひだまり孝行の会 ネットワーク大府 だいこんの花 ゆいの会 菜の花の家 ゆめじろう
あかり ぱお toピア ふれあいネットワーク美浜 紋
(計25団体)

《学生の声》

活動先:サポートちた

様々なイベントや講座に参加させていただいて、どのような事業なのかまた、どのような方々が利用されているのかが、実際に自分も参加し自分で見ることで理解することができた。活動するまでは、中間支援とはサポートちたと各会員NPOの間が主だと思っていたが、活動していく中で、市民とのつながりが多くあるということがわかった。

《学生の声》

活動先:りんりん

今回の活動を通して印象に残っているのは、実際にりんりんのデイサービスと学童保育で活動させていただいたことです。楽しかった思い出だけでなく、自分のコミュニケーション能力のなさにも気づけたよい機会だったと思います。
地域には一人暮らしの高齢者が見え、その人の孤独や不安を少しでも軽減するように援助しているNPOの存在の重要さを知ることができました。

《活動先団体の声》

団体:チャレンジド

来てくれるまでの事前準備もしっかりとやってきてください、企画もしてくださったので、とても助かりました。法人としても大きな企画を、サービスラーニングの学生さんの力も借りて成功できたと思っています。中にはヘルパーとして続けてくださる学生さんもいました。一緒に活動について振り返られる日を設けたいと思います。

■□担当者のふりかえり□■

世の中がとても便利になり、欲しいときに欲しいものが手に入り、人と関わらなくても生活できるようになったせいだろうか、今の若者には意欲、やり遂げる力、コミュニケーション能力、まさに自己形成力というものが欠けているように感じる。このサービスラーニングは今の学生にとってぴったりなプログラムだと思う。講義を始めた頃に比べて成長したという声が関わった教員、活動先のスタッフからたくさん聞くことができた。

21年度は初めての取り組みのため教員・事務局スタッフ・活動先団体・学生皆にとって戸惑うことも多かったと思うが、22年度は初年度の課題をふまえ、学生にとっても、活動団体にとっても実りあるものになればと思う。活動先団体の皆様には今後もご支援とご協力をお願いします。

(竹内)

知多市協働促進事業(知多市委託)

人材育成・研修事業

日 程	2010年1月23日(土)・1月30日(土)
場 所	知多市市民活動センター、及びNPO現場
対 象	市内コミュニティ役員および、市内の市民活動団体
参 加 者	延べ59人



地縁やテーマに基づき活動するコミュニティやNPO、ボランティア、市民活動団体等、さまざまな組織の相互理解を促進し、連携をすすめるきっかけづくりをコミュニティリーダー研修会として位置づけ2回開催した。主体的・自主的に取り組む姿勢、且つ協働の事例を推進し図り、これから時代における新しいまちづくり活動の形を考える。

日 程	内 容	担 当
1/23	①挨拶 コミュニティの現状 ②事例紹介 南粕谷「おたすけ会・元気会」 ③講演 「市内のボランティア活動について」 ④講演 「コミュニティと市民団体との連携」	①平松濱夫(知多市コミュニティ連絡協議会監事) ②一口武夫(南粕谷おたすけ会)・野口美吉(南粕谷元気会) ③河内かをる・大堀つえ子(社協総合ボランティアセンター) ④松下典子(NPO法人地域福祉サポートちた)
	【現地視察 NPO現場見学バスツアー】 ①コミュニティカフェ Ada-coda(知多市) ②NPO法人もやい(阿久比) ③NPO法人りんりん(半田市)	
1/30	講演・グループ討議 「地縁団体と市民活動団体との連携の可能性は?」	鷺見修(防災ボラネット守山・守山区ボランティア連絡協議会・名古屋市子ども青少年局)

知多市団塊世代キャリア活用事業「大人の学校」(知多市委託)

人材育成・研修事業

期 間	2009年6月～2010年2月
場 所	市民活動センター会議室・勤労文化会館等
対 象	団塊世代の方、大人の学校に興味のある方など
参 加 者	47人

これから的人生を豊かにするための「調べる・学ぶ・体験する」をキーワードに、さまざまな情報をもとに、
これからの時間をどう生きる?このまちでどう暮らす?を一緒に考えます。



「大人の学校」始業式

①始業式<6月28日>
②学習プログラム(必須)
◆基礎講座<7月2日・9日> ・知多市のいろいろな地域活動の現状を学ぶ ・身の回りの生活の中で困っていることや疑問に思っていることなど地域のことについて考える
◆体験講座<7月～9月(3回)> ・総合ボランティアセンター、ちた塾、地域福祉サポートちたが、持つネットワークを活かして様々なボランティア、NPO、福祉施設などにおいて地域活動の現場で体験。(※3団体が企画する体験講座にそれぞれ1回以上参加)
◆グループ調べ学習<8月～1月(月2回)> ・自分の調べてみたいテーマを選択し、グループで調べ学習
◆遠足<9月～11月(1回)> ・グループ学習で調べたことを更に深めるために様々なフィールドに出かけ、実際の目で確かめ体験
③中間プレゼン・交流会<10月31日> ・グループで調べ学習をした中間の報告会を行います。ここには一般市民の方を招待し、市民と一緒に地域のことを考える機会とします。 その後、中間プレゼンテーションの打ち上げとして大人の学校参加者同士の交流会を行います
④学校祭<2月14日> ・大人の学校の参加者による活動・体験発表。・団塊世代で地域活動実践者からセカンドライフの魅力を発信。
⑤卒業式<2月26日>

地域協働促進研修実施事業(愛知県委託)

人材育成・研修事業

日 程	2009年12月14日（月）
場 所	あいちNPOプラザ大会議室（ウィルあいち）
対 象	市町村職員・NPO支援センター職員など
参 加 者	34人

NPOの活動の活性化や地域における協働の促進において、その担い手である市町村職員、市町村が設置するNPO支援センター職員、NPO職員等が、研修・意見交換する機会を提供し、担い手のレベルアップや協働の全県的な拡大を図ることを目的とする。

時 間	内 容	講 師
10:00～10:15	オリエンテーション・アイスブレーキング	—
10:15～10:30	講義：「協働は何のために？」	松下典子(NPO法人福祉サポートちた)
10:30～11:30	講義：協働の取組における成果とは？ ～ずっとと私らしく meeting in ちたの事例から～	戸枝陽基(NPO法人ふわり) 小野田靖(半田市役所企画課)
11:30～12:30	事例検討：NPO支援センターの実践 ・県内4つの公設NPO支援センタースタッフ(NPO運営)が「現場の声を聞く」体験を基に事例検討を行う	松本里美(犬山市市民活動支援センター) 伊藤かおり(小牧市市民活動センター) 大野裕史(大府市市民活動センター) 三矢勝司(岡崎市市民活動総合支援センター)
13:30～16:00	ワークショップ 「自分の市町の協働推進の取組を挙げてみよう！」	—

一宮市NPO講座「いちのみや地域のチカラアップ塾」(一宮市委託)

人材育成・研修事業

期 間	2009年10月10日～2009年12月12日
場 所	第1,2,4,5,6回：ファッショントザインセンター 第3回：市役所周辺のNPO
対 象	一宮市民
参 加 者	16名

一宮市における住民自治力の向上を図るために、市民活動の意義を知り、コミュニティの現状を把握することで、地域課題が明確になる。その地域課題について、NPO法人・ボランティア団体と町内会や区などの地縁団体とが連携をし、認め合うことで、地域としての共通認識とし、課題解決力を高めることができる。そのために他団体との連携意識を持った実践者の人材発掘と、育成を目的とした講座を行った。

日程	内 容	講師
第1回 10/10	オリエンテーション 講義「NPOっていったい何？」	今井友乃(NPO法人知多地域成年後見センター) 辻川勝利(ボランティア)
第2回 10/24	講義「地縁団体ってどんな活動をしているの？」 グループワーク「地域の課題を出してみよう！」	寺澤市彦(西成連区地域づくり協議会会長) 地域ふれあい課職員
第3回 11/7	いちのみや現場見学ウォーキングツアー 見学団体：NPO法人一宮まごころ/NPO法人自立と共生をめざす会くもやい> NPO法人志民連いちのみや/NPO法人 Well-Being	
第4回 11/14	講義「地域のチカラって何？」 グループワーク「どんな町だったら住みやすい？そのためには？」	松下典子(NPO法人地域福祉サポートちた)
第5回 11/28	講義「商店街や地縁団体に入り込むには？？」 グループワーク「新たな町の資源の担い手は？」	加藤恵(半田市社会福祉協議会)
第6回 12/12	講義「地縁団体とNPOの連携による地域のチカラ」 個人ワーク「自分ができることは？」	村上眞喜子(NPO法人りんりん) 榎原幸宏(元岩滑コミュニティ会長)

地域福祉サポートちた法人設立10周年記念事業

コンセプトは、「～つながる・ひろがる・ささえあう～」

困ったときはお互いさままでたすけあう、そんな活動がはじまり、団体になり、団体同士がつながり、多くのひとがささえあう地域として、知多半島が注目されているが、地域福祉サポートちたでは、このような会員団体の活動を基盤としたネットワークのチカラを多くの人々にPRし、小さなことから、できることから、気づいたひとから思いをカタチにしていくこと、地域の未来はそんな一人ひとりがつながって、お互いに創りあつていきましょうと、この1年を通じて広く伝えた。

(知多地域市民活動まつり 同時開催 愛フェス知多地域イベント)

主催:まつり実行委員会 (NPO法人ふわり・地域福祉サポートちた・半田市)

期 間	2009年8月1日、2日
場 所	半田市雁宿ホール
対 象	一般市民・NPO
参 加 者	延べ3000人
内 容	○音楽・ダンスコンテスト ○10周年記念交流会 ○映画「降りてゆく生き方」上映 ○NPO展示・飲食販売



(ファンドレイジングイベント 愛フェス参加)

期 間	2009年9月5日、6日
場 所	モリコロパーク（長久手町）
対 象	一般市民
参 加 者	14,500人(公式来場者数)



NPO法が成立して10年が経ち、NPOは社会から地域づくりの担い手として期待されている半面、社会から正しく理解されていないという矛盾がある。愛知県では、愛知万博の際に、市民参加・活動が一時的に活性化したが、NPO活動全体の活性化までには至らない状況である。これから10年に向けて、社会のために自ら考え、行動する「主体的市民」を継続的に増やしていくことが、地域課題を解消し、地域を活性化させるために重要なことである。そのための仕掛けとして「愛フェス」を開催することに賛同し、会員団体にも呼び掛け、もやい、ゆめじろう、だいこんの花とともに、このイベントで開催される「NPO村」にブース出展した。



■□担当者のふりかえり□■

最初に愛フェスNPO部会で企画案を聞いたとき、未来の地域に先行投資！「お互いさまのスパイラル」をもう一度蘇らせるという言葉に惹かれた。当たり前のことなのに、意識していなかったのです。10周年事業としてNPO村の運営に参加し、会議や研修でたくさんのNPO関係者に出会った。分野の違うNPOがイベント成功に向けて協力していく中で、「みんなつながっている」と感じた。サポートちたの連携についても、会員団体に協力して頂いた10周年記念誌や「連鳳」が、知多地域イベントのNPO出店ブースを飾り、モリコロパークでは連鳳が大空を舞うなどネットワークの力を表現できました。また記念誌作成のため各団体にヒアリングして皆さんのが想いを聞かせていただき、その想いを地域につなぎ、次世代につないでいくことが中間支援の役割だと実感した一年でした。

(五十嵐)

(サポートちた10周年記念誌発行)

期間・場所	2009年12月1日
内 容	「知多モデルを全国に広げよう」5つの事業と活動実績 会員団体紹介 A4 20ページ程度1万部 全カラー刷り

(サポートちた10周年記念講演会)

期 間	2009年12月15日
場 所	知多市市民活動センター
対 象	ポートちたとつながる方々
参 加 者	70人
内 容	上野真城子氏 講演会 「家族、コミュニティ、市民社会の市民として。今、私たちに問われているものは何か」



米国生活経験の長い講師が、日本のデモクラシーと市民社会について、政策との関係において何が問題かを語った。マーケット・デモクラシーの議論、「公正と効率」と政府の機能、役割に関する議論の不足。政策評価、政策形成、政策決定に、今、必要な情報データがないこと。政策の優先性の議論の能力が育っていないこと。政策の選択肢、合理的な、適切な政策代替案がないこと等、日本社会の全体の知のレベルが下がってきてている、と示唆した。

■□担当者のふりかえり□■

講演会の中で紹介された言葉に「社会は良くも悪くも常にその人々によって創られ創りかえられるものである。それは、あるものにとっては面倒な責務ととられるが、他の人々には偉大さを呼び覚ますものなのだ。－John Gardner－」があった。NPOと行政、社協、地縁団体の新しい連携が始まっている。私たちはこれからどんな暮らしをしたいのか？そのためにはどんな社会でなければならないのか？これからの10年、真に市民の力が問われていると切実に感じた。 (岡本)

愛知県内支援センター情報交換会

日 程	2010年2月15日 15:00～17:00
場 所	知多市市民活動センター 会議室
対 象	愛知県内NPO支援センタースタッフ、中間支援団体職員
参 加 者	32名 ・NPO支援センタースタッフ 14人 ・中間支援団体 10名 ・行政 8名
内 容	各市町支援センターの現状調査報告と4つのテーマに分かれた意見交換会 テーマ 「地域の団体との関わり方」「中間支援として心すべきことと事業例」「ユニークな協働事例」「人材育成のノウハウ」



■□担当者のふりかえり□■

今回は、終始和やかな雰囲気の中行われ、市町のセンター現状報告やテーマ別に分かれた意見交換が行われた。意見交換の中からは、「地域のニーズを把握するには、地域に出て、いろいろな人と顔見知りの関係になることが大切」と語られた。地域に足を運ぶことと同様に地域のニーズを知り、課題解決には横の関係を築き、深めていくことが大切である。今後も年に1回は県内のNPO支援センターと中間支援団体と交流の機会を持ち、県内の連携を深めていきたい。 (後藤)

(市町 NPO アドバイザー)

本年度は、NPO、ボランティアに興味関心のある人、活動の中で課題を持つ人などを対象に 4 つの市町からアドバイザー事業を行いました。

知多市(委託)	毎週水曜日	139 件	知多市市民活動センター
東海市(委託)	随時	25 件	東海市市民活動センター
一宮市(委託)	各月 1 回	11 件	一宮市市民活動センター
長久手町(委託)	2 月・3 月で 4 日間	8 件	長久手町まちづくりセンター

(サポートちた相談支援)

期 間	2009年4月～2010年3月 随時
場 所	知多市市民活動センター
対 象	NPO法人・NPO任意団体・行政・企業・個人・その他どなたからでも

協働ロードマップ策定の事務局運営業務(愛知県委託事業)

調査研究・提言事業

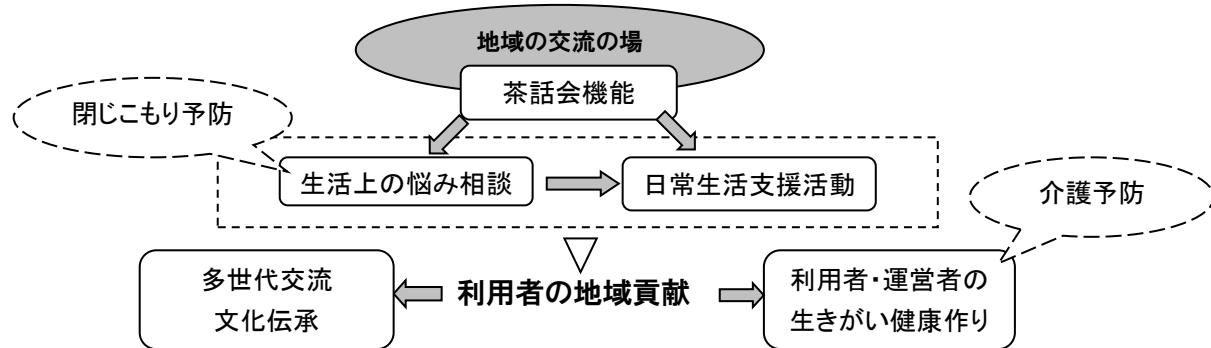
日 程	2009 年 8 月～2010 年 2 月
場 所	知多市市民活動センター など
テ ー マ	要介護状態にない高齢者が利用できる地域の交流の場づくり
参 加 者	NPO 代表者・地縁型組織関係者・ 県市町村福祉課職員・社会福祉協議会職員など



みんなで支え合う公共においては、NPOの持つ自発性や住民目線のアイデア等の特性を地域の課題解決に向けて活かしていくことが重要との視点から、NPOと行政が「協議の場」を設置し、中長期的な視点に立って、特定の地域課題について 5 回程度議論を重ね、解決策の方向性をまとめていくものが協働ロードマップである。

今回、エリアを実践事例が豊富な知多半島に限定し、関係者の実情と課題認識、5 年後のビジョン共有と解決策の役割分担について協議を重ねた。また、毎年行っているNPOと行政の意見交換会にロードマップ原案を提出、広く参加者から意見を募る機会を持った。3 月には協働eruleブック推進フォーラム 2010 で、報告の機会を得た。ここで、テーマをどう現場から提案できるかが今後の課題と、参加者間で共有された。

共有された地域の交流の場の機能



* テーマは、介護予防という高齢者福祉の施策上の課題であったが、上記のような機能の循環を生み出し、いくつかの地域課題が相関関係を持って解決が図られるという、現場の実態が共有された。

■□ 担当者のふりかえり □■

今回は、モデル事業としての試みであったため、即実行につながりにくく、NPOにとっては歯がゆい思いのロードマップとなった。今後は各市町に関係者の協議を重ね、役割分担を明確にしながら共有したビジョンを実現していくことが必要である。その際、行政が協議の場の設置を行えば関係者を集めやすいし、協働の実践も伴う。ロードマップが地域の協働深化のツールとして活用されるよう、市町に働きかけたい。

(岡本一美)

ハート&ハンズ

(独立行政法人福祉医療機構「長寿・子育て・障害者基金」助成事業)

日 程	2009 年 8 月～2010 年 3 月
場 所	知多半島内のNPO現場 など
対 象	NPO関係者・市町職員・包括支援センター職員など
参 加 者	述べ 386 名



どのような身体的・精神的状況にあっても、地域で共に支え合う仕組みづくりを通して、福祉のある優しい我がまちづくり(トータルケア・ネットワークづくり)を目指す。知多半島 5 市 5 町地域包括支援センターとNPOとの意見交換会をはじめ、会議・調査から浮き上がった課題を抽出し、足らないサービスをつくりだすことを目的とする。

① 団体ネットワーク調査	9 月～1 月	アンケート発送 540 件、回収率 19%
② 会議 (包括支援センターとNPOとの意見交換会)	10/15、11/12 12/15	現状と課題、枠外サービスの共有 シンポジウム
③ 各市町の足らないサービス情報交換会	1 月～3 月	8 市町にて開催 (下表 参照)
④ 担い手育成	12/15 3/3	「基調講演」 講師:上野真城子 「成年後見制度講座」 講師:今井友乃
⑤ NPO現場見学バスツアー	1/18	ゆめじろう→ゆいの会→もやい→絆
⑥ パンフレット作成	3 月	3,000 部発行

地区	主催 NPO	内 容
東海市	ふれ愛	テーマ:「足りないサービスをどう作る」 地域たすけあいの会つどい、ケアフレンドほのぼの会、包括、社協、民生委員、保健福祉課、老人会が参加し、現状の課題を共有、各関係機関のネットワークづくりを検討。現在も継続中。
半田市	りんりん	2/4 講演会 場所:雁宿ホール 講師:富山県氷見市社会福祉協議会 テーマ:『地域でたすけあうために～見守りネットワーク～』 内容:(実践事例の発表)氷見市におけるケアネット活動の展開
大府市	ネットワーク 大府	テーマ:「足らないサービス」の確認 はっぴいわん大府、さわやか愛知、民生、区長、包括、ケアマネ、福祉課が参加し、ワークシヨップ形式で課題共有。 2/8 テーマ:一人暮高齢者の地域での課題 3/9 テーマ:認知症高齢者と男性介護者への支援
東浦町	絆	1/22 テーマ:地域課題の確認、意見交換。 福祉課、コミュニティ課、包括、社協、民生、らいふ職員が参加。
知多市	ゆいの会	テーマ:「地域介護ネットワークづくり」 だいこんの花、あゆみ、包括、ケアマネ市議が参加し、事例検討および問題点の共有。
阿久比町	もやい	1/25「ほすもの会」(みんなの家ほっと、すみれの会、もやい)結成 2/1「地域福祉グループ」(包括、社協、ほすもの会)結成し、 3/8 人材育成とまちの居場所への参加のきっかけづくりについて共有
常滑市	あかり	テーマ:「足りないサービスをどう作る」市高齢介護担当、包括、包括保健師 社協が参加、1/7 現状と課題の共有、2/24 と 3/3 地域サロンの拡充策検討
武豊町	ゆめじろう	1/27,2/9,2/22 打ち合わせ。3/5 武豊福寿園にて、介護の不安解消や情報交換を目的に「介護者のつどい」を町民対象に開催。包括、社協、福寿園、ケアマネが参加。

■□ 担当者のふりかえり □■

介護保険法の施行から 10 年が経過、制度上の限界がみえはじめた。今回、包括支援センターとの意見交換会や、各市町の「足らないサービス」に集約した情報交換会が問題の共有を図る機会となり、個々のケースに向き合いながら地域の問題解決を進めてきた半島のNPOの整合性が認められる結果となった。しかし、これは幕開けにしか過ぎず、NPOが新しい公共を担うには、険しい道のりが続く。

(市野)

期 間	2009年4月～2010年3月
場 所	知多市市民活動センター 交流室
内 容	カフェ事業の運営、企画・教室事業の運営、企画
来所者数	4,700人
従 事 者	39人



手づくりカフェ「Ada-coda」は、誰でもが自分の色で輝ける場つくりを理念とし、老若男女を問わず幅広い層の登録シェフによって「食」を通してコミュニティづくりを行っています。

■□担当者のふりかえり□■

おかげさまで7周年を迎えました。ワンディイシェフ登録のシェフが、集客のために7周年記念イベントを企画運営しました。準備した手作りパンが、あっという間に売り切れる盛況ぶりでした。

「第1回ワンディイシェフ全国フェスティバル」に参加。こらぼ屋（四日市）にて、選抜シェフ（写真左）による地域色を反映したランチを提供、翌日出店する恵カフェ（羽曳野市）へバトンタッチしました。

シェフ登録状況は緩やかに増えており、男女を問わず多世代にわたってきました。今後は、シェフ交流の機会を増やし、シェフネットワークを大切に育てていきたいと思います。
(江端)

知多市障がい児運動クラブ「ふいっと」

期 間	2009年4月～2010年3月
場 所	知多市市民体育館
対 象	知的障がいのある子ども
	サポートボランティア
参 加 者	子ども延べ107人 ボランティア延べ139人
	インストラクター：大須賀達子 コーディネート：知多地域障害者生活支援センターらいふ 主なボランティア：日本福祉大学のサークル「どんぐりの家」を中心とした大学生 知多市総合ボランティアセンター登録ボランティア

「ふいっと」では子どもたちとボランティアが1対1で関わる事を基本として、障がいのある子でもわかりやすいようなプログラムを組んでいます。音楽に合わせて体を動かしたり、ボール・フラフープなど使って運動したりと、日頃の運動不足を解消できる楽しい時間です。学生や地域の方との関わりは、彼らの障がい特性を理解してもらう良い機会となっています

定例会 10回(4/11 5/9 6/6 7/4 9/12 10/10 11/14 12/5 2/6 3/13)

日程	行 事 名	内 容
7/4	ボランティア勉強会	らいふのスタッフが講師になり、ふいっと活動内の困った事例を検討した。
12/5	交流会(しあわせ村)	メンバーの親さんがカレーを作り、食事をしながら親子とボランティアさんで交流
3/13	ボランティア交流会	ボランティアの卒業祝いを兼ねた情報交換会



しあわせ村散策

■□担当者のふりかえり□■

恒例の行事を開催することができた。今後も、ボランティア参加を通して知的・発達障がいのことを知ってもらい、地域に理解者を増やすことで、彼らが安心して暮らせる地域づくりを目指したい。小学生から社会人まで年齢層の幅が広いメンバーたちだが、活動中は自分のペースで安心して参加している。22年度は新メンバーを募集して屋外活動も取り入れ、さらに充実した活動にしていきたい。
(五十嵐)

21年度 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた事業報告(案)

「特定非営利活動事業」

事業項目/事業名		事業内容	受益対象者	実施場所/時期
I 人材育成・研修事業				
(1)	ヘルパー養成講座	安心と豊かさの実現できる在宅サービス、地域福祉を担うヘルパーを育成 県の認定に準じたカリキュラムの実施		
1	ホームヘルパー2級養成研修講座(通学)	ホームヘルパー養成	会員・大学生・高校生・一般市民 148人	知多市市民活動センター(知多市)/年1回、NPO法人りんりん(半田市)/年1回、日本福祉大学美浜キャンパス(美浜町)/年1回、半田市社会福祉協議会(半田市)/年1回
2	ホームヘルパー2級養成研修講座(通信)	ホームヘルパー養成	学生 13人	名古屋短期大学通信課程/年1回
3	ガイドヘルパー養成研修講座 (行動援護従業者養成研修課程)	ガイドヘルパー養成	会員・学生・一般市民 87人	知多市/年1回、日本福祉大学/年1回、一宮/年1回、
4	介護福祉士対策講座	介護福祉士受験の筆記試験と実技試験に対しての対策講座	会員・学生・一般市民 38人	知多市市民活動センター/年1回
(2)	NPO人材育成	NPOについて市民をはじめ、行政・企業の人々に学びときっかけ、実践の機会の場提供 また、団体設立、運営にかかわるリーダー、スタッフの育成		
1	NPOマネジメントセミナー	NPO組織運営、事業経営に関する入門講座	NPO従事者・一般市民 197人	知多市市民活動センター/10回
2	マナー講座	また会いたいと思われる人材の育成	NPO従事者・一般市民 50人	知多市勤労文化会館、知多市市民活動センター/3回
3	日本福祉大学 NPO協働型サービスラーニング	学生を対象とした、市民としての責任意識を育むための教育プログラム	学生 88人	日本福祉大学、知多半島内のNPO活動現場/4月～3月
4	知多地域フィールドスタディ	学生を対象とした、知多半島を理解し、実際に現場を体験する教育プログラム	学生 5人	日本福祉大学、知多半島内のNPO活動現場/9月～1月
5	知多市団塊世代キャリア活用事業「大人の学校」(知多市委託)	団塊の世代を中心に地域活動の担い手を育成する講座	一般市民 47人	知多市市民活動センター/4月～2月
6	東海市男女共同参画フォーラム	市民を対象とした男女共同参画の意識啓発・情報発信	一般市民・NPO関係者・行政職員 220人	東海市/5月～2月
7	協働のまちづくり事業「すっきりわかるNPO入門講座」(知多市委託)	NPOの入門講座	一般市民 96人	知多市市民活動センター/8月～12月(8日間)
8	一宮市NPO講座「いちのみや地域のチカラアップ塾」(一宮市委託)	市民活動への新たな一步を踏み出せる人材の発掘・育成	一般市民 64人	一宮市/10～12月(6日間)
9	インターン受け入れ	行政は協働、学生は就労を目的に、NPOの理解促進を図る現場体験。	行政職員 17人 学生 4人	知多市市民活動センター／愛知県職員7月～12月(6日間)・大府市職員8月(5日間)・豊川市職員11月～12月(10日間)・名古屋短期大学8月・3月(10日間)
10	知多市職員研修	市町村職員を対象に、協働の意義と必要性を理解するための研修	知多市職員 19人	知多市勤労文化会館/10月6日

11	地域協働促進研修実施事業 (愛知県委託)	市町村職員を対象に、協働の意義と必要性を理解するための研修	市町村職員・NPO支援センター職員 32人	イルあいち/12月14日	
12	知多市協働促進事業(知多市委託)	コミュニティとNPOが相互の目的や活動内容を理解し、新しい協働の形を作るための出会いの場づくり	知多市内コミュニティリーダー、NPO関係者、行政職員 68人	知多市市民活動センター／1月23日・1月30日	
13	名古屋短期大学講義	ボランティアとは何かをテーマに社会のあり方や生き方について考えを深めるための講義「ボランティアワーク」に講師派遣	学生 多数	名古屋短期大学(豊明市)/4～9月	
(3)	NPO現場見学バスツアー				
1	通常バスツアー	定期的に行う見学ツアー(26人用・8人用)	会員・学生・一般市民 146人	知多半島のNPO組織/年12回	
2	オプショナルバスツアー	希望に応じてプランを作成するオプショナル見学ツアー	会員・学生・一般市民 392人	知多半島のNPO組織/年24回	

II 情報・交流促進事業

(1)	会報発行	ニュースレター「SUPPORT NEWS」の発行	会員・学生・一般市民 多数	本法人事務所/年6回
(2)	情報交流スペース提供	各会員等の広報誌やイベント案内チラシ等を掲示し、広報する	会員・学生・一般市民 多数	知多市市民活動センター/通年
(3)	WEBサイト管理	本法人ホームページの管理、情報提供	会員・学生・一般市民 多数	本法人事務所/通年
(4)	会員交流会	本法人会員交流会の開催	会員 多数	知多市市民活動センター/5月22日
(5)	10周年記念セレモニー	本法人10周年の記念セレモニーの開催	63人	半田市勤労文化会館/8月2日
(6)	10周年記念映画	本法人10周年記念イベントとして、映画「降りてゆく生き方」の上映	1157人	半田市勤労文化会館/8月2日
(7)	愛フェスブース出展	一般市民を対象としたファンディジングイベントへの参加、本法人や会員団体PR	一般市民・NPO関係者 14500人	愛・地球博記念公園/9月5日・6日
(8)	愛知県内支援センター情報交換会	各市町支援センターの現状調査報告と4つのテーマに分かれた意見交換会	NPO支援センタースタッフ・中間支援団体・行政職員 32名	知多市市民活動センター/2月15日

III 調査研究・提言事業

(1)	知多市男女共同参画社会意識調査	知多市民を対象とした男女共同参画に関する住民意識調査	一般市民・NPO関係者・行政職員 14人	知多市市民活動センター/5回
(2)	愛知県協働ロードマップ策定のための事務局運営事業	行政、NPOを中心とした公共を担う各主体が問題意識や公共サービスの向上を目指す方向性を示す工程書策定と事務局の運営	NPO関係者・社会福祉協議会職員・行政職員 14人	知多市市民活動センター/5回
(3)	ハート&ハンズ(2回情報交換会・調査)	知多半島5市5町の足らないサービスの創出のための会議・調査事業	NPO関係者・包括支援センタースタッフ・市町職員 386人	知多半島5市5町/8月～3月

IV 啓蒙啓発相談事業

(1)	知多市NPOアドバイザー事業 (知多市委託)	NPO法人設立や市民団体の運営、まちづくりに関する諸問題について相談	一般市民 139人	知多市市民活動センター/週1回・ 隨時
(2)	東海市NPOアドバイザー事業 (東海市委託)	NPO法人設立や市民団体の運営、まちづくりに関する諸問題について相談	一般市民 25人	東海市市民活動センター/ 隨時
(3)	一宮市NPOアドバイザー事業 (一宮市委託)	NPO法人設立や市民団体の運営、まちづくりに関する諸問題について相談	一般市民 11人	一宮市市民活動センター/年6回
(4)	長久手町NPOアドバイザー事業 (長久手町委託)	NPO法人設立や市民団体の運営、まちづくりに関する諸問題について相談	一般市民 8人	長久手町まちづくりセンター/年4回
(5)	NPO法人設立・運営相談	NPO法人設立や市民団体の運営、まちづくりに関する諸問題について相談	一般市民 多数	本法人事務所/通年
(6)	行政訪問	知多半島5市5町の行政機関訪問	知多半島内の行政機関	知多半島内 隨時
(7)	第12回知多市健康・福祉フェスティバル参加	第37回知多市産業まつりと同時開催された第12回健康・福祉フェスティバルにブース出展。団体概要や活動内容の掲示、各種チラシ・パンフレットなどを配布	一般市民 多数	知多市市民体育館/10月24・25日

V 市民活動支援事業

(1)	サロン	市民カフェ「Ada-coda(あーだこーだ)」の運営(実践現場)	一般市民 多数 (3821)	知多市市民活動センター/通年
(2)	知多市障がい児運動クラブ 「ふいっと」	障害のある子どもたちが運動を通じて、地域の人々との関わりを深める活動の運営	知的障害のある児童・ 学生・一般市民 251人	知多市市民体育館/通年

VI 知多市市民活動センター支援事業

(1)	市民活動センター相談・支援事業 (知多市委託)	知多市市民活動センターの土日・夜間の管理、相談業務	一般市民・NPO関係者 多数	知多市市民活動センター/通年
(2)	知多市市民活動センター清掃業務 (知多市委託)	知多市市民活動センターの館内清掃業務	一般市民 多数	知多市市民活動センター/通年
(3)	福祉NPO事業サポート(サービス提供責任者の学習会)	会員団体を対象としたサービス提供責任者学習会	16人	NPO法人もやい/1回
(4)	福祉NPO事業サポート(就業規則講座)	NPOのための就業規則講座	27人	知多市市民活動センター/1回

VII 会議関係

(1)	通常総会	定款の定めるところによる通常総会開催	会員	知多市市民活動センター/年1回 (5月22日)
(2)	常務理事会	定款の定めるところによる常務理事会開催	常務理事	知多市市民活動センター/年1回 (1月14日)
(3)	理事会	定款の定めるところによる理事会開催	理事	知多市市民活動センター/年6回 (5月12日、7月24日、9月25日、 11月27日、1月22日、3月26日)

「人材派遣内容」

派遣先		事業内容
(1)	大学等講師派遣	愛知県内の大学への講師派遣
1	日本福祉大学	「サービスラーニング」
2	日本福祉大学	「知多地域フィールドスタディ」
3	名古屋短期大学	「ボランティアワーク」
4	あいちシルバーカレッジ	「地域社会とNPO」
(2)	行政・各種団体講師等派遣	
1	刈谷市民活動センター	「協働とは何か？なぜ必要か？」
2	安城市民活動センター	「協働とは何か？なぜ必要か？」
3	知多市職員研修	「NPOと行政との協働について」
4	豊田市・ゆずりは	「私のできることから」
5	愛知県 自治研修所	「NPOと行政の協働」
6	津島市	「ボランティアから始まる」
7	飛島村	男女協働サテライトセミナー「みんなが主役～ともに支えあう村づくり」
8	日本福祉教育・ボランティア学習学会	「これからの中等教育、ボランティア教育」
9	あいち未来塾	「地域課題を形に、仕事に」
10	日本NPOセンター	「地域の連携を産むNPO現場見学バスツアー」
11	日本社会福祉士養成校協会	「新たな教育手法からの知見－サービスラーニング－」
12	愛知県NPOと行政の意見交換会 ファシリテーター	心のバリアフリー推進事業
13	常滑市職員研修	「事例から考える協働の進め方」
14	東海市市民活動センター利用者のつどい全2回	「活動団体ファイルの活用法」「センターまつりを考える」
15	名古屋短期大学	「ボランティアワーク」
16	あいちシルバーカレッジ	「地域社会とNPO」
17	福祉のまちづくりリーダー養成講座	「NPOの資金調達」
18	138NPO育ち合い講座	「NPOの公益性を考える」
(3)	各種検討委員会等委員派遣	
1	めいきん生協・福祉基金制度検討委員会	
2	愛光園評議委員	
3	あいち未来塾運営委員	
4	あいち福祉ネット理事会	
5	愛フェスNPO部会	
6	ぎふ市民助成審査運営委員会	
7	一宮市市民が選ぶ市民活動支援制度審査委員会	
8	NPOと行政の協働に関する実務者会議	
9	知多市総合計画審議委員	
10	知多市都市計画マスターPLAN策定委員	
11	知多市チャレンジちた経営プラン検討委員	
12	2市2町障害者自立支援協議会委員	
13	知多市市民活動センター運営会議	

21年度決算報告



➤ 収支計算書

➤ 貸借対照表

➤ 財産目録

➤ 監査報告書

平成21年度
特定非営利活動事業会計 収支計算書

平成21年4月1日 から 平成22年3月31日 まで

特定非営利活動法人 地域福祉サポート ちた

(単位 : 円)

科 目	予 算	金 額 (決 算)	備 考
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入会金収入			
1) 入会金収入	100,000	55,000	
2) 年会費収入	800,000	794,000	
	900,000		
2 事業収入			
1) ヘルパー養成事業収入	10,070,000	13,594,355	詳細は事業報告書参照
2) NPO人材養成事業収入	6,000,000	5,765,050	詳細は事業報告書参照
3) パスツアー収入	2,300,000	2,141,600	詳細は事業報告書参照
4) 情報交流促進事業収入	3,100,000	1,400,912	詳細は事業報告書参照
5) 調査研究提案事業収入	900,000	3,540,985	詳細は事業報告書参照
6) 市民活動支援事業収入	3,500,000	3,058,290	詳細は事業報告書参照
7) 啓蒙啓発相談事業収入	1,000,000	1,337,954	詳細は事業報告書参照
8) 市民活動センター委託事業収入	7,800,000	7,951,650	詳細は事業報告書参照
事 業 収 入 合 計	34,670,000		
3 助扶金等収入			
1) 国・地方補助金収入		400,000	
2) 民間補助金収入			
補 助 金 収 入 合 計	0		400,000
4 寄付金収入			
1) 一般寄付金収入	200,000	76,551	
2) その他寄付金収入			
補 助 金 収 入 合 計	200,000		76,551
5 雑収入			
1) 受取利息配当金		2,893	
2) 雑収入	342,000	24,350	プロジェクト使用料・資料印刷代等
補 助 金 収 入 合 計	342,000		27,243
経 常 収 入 合 計	36,112,000		40,143,590
II 経常支出の部			
1 事業費			
1) ヘルパー養成事業費	9,400,000	9,967,537	詳細は事業報告書参照
2) NPO人材養成事業費	4,300,000	4,197,285	詳細は事業報告書参照
3) パスツアー事業費	1,900,000	1,727,337	詳細は事業報告書参照
4) 情報交流促進事業費	2,100,000	5,112,271	詳細は事業報告書参照
5) 調査研究提案事業費	400,000	2,651,850	詳細は事業報告書参照
6) 市民活動支援事業費	3,000,000	3,457,117	詳細は事業報告書参照
7) 啓蒙啓発相談事業費	500,000	728,630	詳細は事業報告書参照
8) 市民活動センター委託事業費	7,700,000	7,935,633	詳細は事業報告書参照
事 業 費 合 計	29,300,000		35,777,660
2 管理費			
1) 役員報酬			
2) 給与手当	2,500,000	2,030,000	
3) 法定福利費	1,400,000	227,018	管理部門社会保険料・労働保険料
4) 福利厚生費	120,000	72,556	管理部門通勤費等
5) 旅費交通費	30,000	11,630	管理部門研修時交通費
6) 通信運搬費	250,000	26,754	管理部門電話代(NTT/ソフトバンクテレコム)
7) 交際費		13,150	生花代3件
8) 保険料	70,000	8,072	管理部門業務保険・動産保険
9) 修繕費		4,987	PC修理・不燃物処理代
10) 消耗品費	150,000	333,894	デジカメ・パソコン(2台)・会計ソフト・ウイルスソフト
11) 租税公課	900,000	913,370	消費税(836,000) 法人市県民税均等割(70,820) 印紙
12) 施設利用料	130,000	11,346	理事会会場費・管理部門市民活動センター使用料
13) 支払手数料	300,000	30,134	管理部門税理士・社労士報酬
14) 諸会費	80,000	69,000	団体年会費8件
15) 新聞図書費	100,000	51,120	日経新聞等

16) 会議費	100,000	5,250	ミーティング費用
17) リース料	200,000	34,266	管理部門コピー機・電話機リース料
18) 研修費	100,000	121,950	
19) 雑費	100,000	8,898	管理部門振込手数料等
20) 予備費	282,000		
管 理 費 合 計	6,812,000	3,973,395	
経 常 支 出 合 計	36,112,000	39,751,055	
経 常 収 支 差 額		392,535	
 III その他資金収入の部			
1 固定資産売却収入			
1) 什器備品売却収入			
2 繙入金収入			
1) 特別会計繙入金収入			
3 借入金収入			
1) 長期借入金収入			
その他資金収入合計		0	
 IV その他資金支出の部			
1 固定資産取得支出			
1) 什器備品取得支出			
2 繙入金支出			
1) 特別会計繙入金支出			
3 借入金返済支出			
1) 長期借入金返済支出			
その他資金支出合計		0	
 当 期 収 支 差 額		392,535	
前 期 繙 越 収 支 差 額		9,158,590	
次 期 繙 越 収 支 差 額		9,551,125	
 (正味財産増減の部)			
 V 正味財産増加の部			
1 資産増加額		392,535	
1) 当期収支差額			
2) 固定資産受贈額			
2 負債減少額			
1) 長期借入金返済額			
増 加 額 合 計		392,535	
 VI 正味財産減少の部			
1 資産減少額			
1) 固定資産売却額			
2) 固定資産除却額			
3) 減価償却額		44,554	
2 負債増加額			
1) 長期借入金増加額			
減 少 額 合 計		44,554	
 当 期 正 味 財 産 增 加 額		347,981	
前 期 繙 越 正 味 財 産 額		9,375,034	
正 味 財 産 合 計		9,723,015	

平成21年度 部門別収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

科目	合計	共通	ヘルパー養成	人材育成	バスツアーア	情報交流	調査研究	市民活動支援	啓蒙啓発相談	市民活動センター分
I 経常収入										
会費収入	849,000	821,000						28,000		
事業収入	38,790,796		13,594,355	5,765,050	2,141,600	1,400,912	3,540,985	3,058,290	1,337,954	7,951,650
補助金収入	400,000		200,000					200,000		
寄付金収入	76,551	76,551								
受取利息	2,893	2,722						171		
雑収入	24,350	24,350								
合計①	40,143,590	924,623	13,794,355	5,765,050	2,141,600	1,400,912	3,540,985	3,286,461	1,337,954	7,951,650
II 経常支出										
給与手当	15,799,005	2,030,000	2,044,160	1,619,125	465,000	668,190	856,695	765,950	493,000	6,856,885
法定福利	1,621,560	227,018	210,803	162,156	81,078	48,647	81,078	81,078	81,078	648,624
福利厚生	546,700	72,556	71,967	56,131	16,565	23,940	29,194	27,113	36,610	212,624
講師料	5,926,964		4,308,540	1,038,424			478,000	92,000	10,000	
旅費交通費	951,080	11,630	131,500	226,170	10,500	406,000	50,970	71,840	32,420	10,050
通信費	945,804	26,754	152,340	60,255	27,392	337,222	285,837	15,876	13,376	26,752
交際費	33,230	13,150	5,180			4,800		10,100		
保険料	118,860	8,072	33,857	7,147	25,384	1,730	3,484	13,234	2,884	23,068
修繕費	4,987	4,987								
燃料	39,880			1,010	37,517		1,353			
消耗費	857,277	333,894	84,335	86,255	42,167	98,902	95,081	24,434	21,084	71,125
租税公課	927,170	913,370	1,000	2,200					200	10,400
バス経費	1,045,497			32,000	939,397		74,100			
施設利用料	434,384	11,346	109,092	50,262	16,836	22,646	21,210	185,613	5,673	11,706
支払手数料	301,350	30,134	60,270	60,270	30,135	30,135	30,135	15,068	15,068	30,135
諸会費	69,000	69,000								
新聞図書費	61,996	51,120		8,773			903	1,200		
広告宣伝費	527,000			154,500		129,500	243,000			
会議費	3,615,184	5,250	2,120			3,293,908	285,078	28,828		
リース料	342,644	34,266	68,529	68,529	34,264	34,264	34,264	17,132	17,132	34,264
研修費	125,550	121,950				3,600				
テキスト	1,467,605		1,387,605				80,000			
実習費	1,273,493		1,273,493							
委託料	18,390			18,390						
諸謝金	548,500			541,000		7,500				
雑費	40,374	8,898	22,746	4,688	1,102	1,287	1,468	80	105	
Ada-coda原価	2,107,571							2,107,571		
合計②	39,751,055	3,973,395	9,967,537	4,197,285	1,727,337	5,112,271	2,651,850	3,457,117	728,630	7,935,633
①-②	392,535	-3,048,772	3,826,818	1,567,765	414,263	-3,711,359	889,135	-170,656	609,324	16,017

平成21年度
特定非営利活動事業会計 貸借対照表

平成22年3月31日 現在

特定非営利活動法人 地域福祉サポート ちた

(単位 : 円)

科 目	・ 摘 要	金 額
I 資産の部		
1 流動資産		
現金・預金	6,632,739	
前払費用	28,370	
未収入金	5,750,214	
流 動 資 産 合 計		12,411,323
2 固定資産		
工具器具備品	3,116,178	
減価償却累計額	△ 3,030,878	85,300
電話加入権		86,590
固 定 資 産 合 計		171,890
資 産 合 計		12,583,213
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	2,169,755	
前受金	426,000	
預り金	264,443	
流 動 負 債 合 計		2,860,198
2 固定負債		
固 定 負 債 合 計		0
負 債 合 計		2,860,198
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	9,375,034	
当期正味財産増加額	347,981	
正 味 財 産 合 計		9,723,015
負債及び正味財産合計		12,583,213

注記 1 重要な会計方針

① 資金の範囲は、現金預金及び短期金銭債権債務(借入金を除く)としています。

② 固定資産の減価償却方法は以下のとおり

有形固定資産：定率法(ただし建物は定額法) 無形固定資産：定額法

少額減価償却資産：一括償却

2 次期繰越収支差額の内訳は次のとおり

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現金・預金	8,340,595	6,632,739
仮払金		
前払費用	28,740	28,370
未収入金	5,413,048	5,750,214
合 計 ①	13,782,383	12,411,323
未払金	2,907,085	2,169,755
預り金	410,708	264,443
前受金	1,306,000	426,000
合 計 ②	4,623,793	2,860,198
次期繰越収支差額①-②	9,158,590	9,551,125

平成21年度
特定非営利活動事業会計 財産目録
平成22年3月31日 現在

特定非営利活動法人 地域福祉サポート ちた

(単位 :円)

科 目	・	摘 要	金 額
I 資産の部			
1 流動資産			
現金(本部)			416,348
現金(あだこーだ)			131,740
普通預金 UFJ銀行 知多支店(1413965)			2,799,872
普通預金 UFJ銀行 知多支店(1350191)			1,822,240
普通預金 UFJ銀行 知多支店(1051460)			786,464
普通預金 JA知多 新知支店(0106894)			287,037
普通預金 知多信用金庫 知多支店			91,674
通常貯金 郵貯銀行			165,744
振替用口座 郵貯銀行(85071)			131,620
現金預金合計			6,632,739
前払費用			
会議室等利用料22年度分			28,370
未収入金			
市民活動相談支援費 知多市			1,674,600
市民活動センター日常清掃費 知多市			221,700
市民活動センター夜間管理費			406,350
市民活動相談支援費 東海市			185,094
ヘルパー講座補助金 知多市			200,000
市民活動アドバイザー委託料 一宮市			120,000
男女共同参画推進フォーラム委託 東海市			1,500,000
協働ロードマップ委託料 愛知県			809,970
協働コーディネータ委託料 長久手町			297,000
1%審査会謝金 一宮市			135,500
ふいと活動補助金 知多市			200,000
未収入金合計			5,750,214
流動資産合計			12,411,323
2 固定資産			
工具器具備品 別紙備品台帳			85,300
電話加入権 0562-33-8658			41,790
0562-33-1631			44,800
電話加入権合計			86,590
固定資産合計			171,890
資産合計			12,583,213

II 負債の部				
1 流動負債				
未払金				
3月分給与	1,212,635			
3月分通勤費	39,900			
ヘルパー2級実習費 43名分	344,000			
バスツアービズタ見学料(21年9月～3月)	58,100			
会計ソフト代 日本デジタル	42,000			
ハート&ハズズ報告書発送料13通	2,000			
当期確定消費税額	400,300			
当期確定住民税額	70,820			
未払金合計		2,169,755		
前受金				
22年度年会費前受金	30,000			
22年度シェフ登録料	6,000			
22年度H2級受講料	390,000			
前受金合計		426,000		
預り金				
源泉所得税	142,377			
社会保険料3月分	122,066			
預り金合計		264,443		
流動負債合計		2,860,198		
2 固定負債			0	
固定負債合計			0	
負債合計			2,860,198	
正味財産				9,723,015

監査報告書

特定非営利活動法人地域福祉サポートちた
代表理事 松下 典子 殿

特定非営利活動法人地域福祉サポートちたの平成 21 年 4 月 1 日から、平成 22 年 3 月 31 日までの事業年度の計算書類、すなわち収支計算書、貸借対照表および財産目録、ならびに関係帳簿、証拠書類の監査を行いました。

監査の結果、上記書類が一般に公正妥当と認められる特定非営利活動法人の会計基準及び定款に準拠しているものと認められること、ならびに適正にして正確に表示されているものであることを認め、ここに報告いたします。

平成 22 年 5 月 11 日

特定非営利活動法人地域福祉サポートちた

監事

佐々木 真雄



監事

山崎 紀恵子



22年度事業計画/予算



➤ 事業計画書

➤ 収支予算書

- 1 22年度事業計画
- 2 22年度収支予算

平成22年度

特定非営利活動法人 地域福祉サポートちた

事業計画書(案)

期間:平成22年4月1日から平成23年3月31日

二、活動方針

1、設立の初心を貫く

—より多くの人々が社会のあり方と市民の役割を深く考えるきっかけをつくる—

- ① 現場で活躍できる人材育成を行う
地域福祉を担う市民としての意識の高い人材を養成する。
- ② 現場の課題の解決をめざす
事業の企画や運営にあたり、会員団体やまちづくりの現場ニーズと実態を踏まえ、実践的な課題解決に結びつくことをめざす。
- ③ 信頼のネットワーク形成を図る
会員団体の情報交流に努め、事業運営・課題解決においては、地域住民をはじめ、学識者、専門家、行政、企業などの参加・協力を図り、双方向の交流と対話を行うことで信頼関係を培い協働関係が継続的に発展するネットワークを形成する。
- ④ 市民意識を醸成し、社会の主体としての市民形成をめざす
様々な実践活動、交流・ネットワーク形成などを通じて、市民が社会の主体として活躍するために寄与する。

2、状況認識・課題認識

- ① 超高齢社会を目前に控え、持続可能な地域福祉の基盤整備として、ニーズに応じたインフォーマルサービスの創出が急務である。
- ② 政府の「新しい公共」の考え方の中で、NPOとの協働への過大な期待・依存が進行している。NPOを支える社会的な仕組みづくりが急がれている。
- ③ 厳しい雇用情勢の中、共生共存の社会、若い世代が自信と希望の持てる社会づくりとして、新たな働き方の在り方が問われている。

3、2010年度の取り組み。

- ① 協働ロードマップに描いた「地域の交流の場づくり」をめざす人材育成と現場をアピールする機会をつくる
- ② 地域に足りないインフォーマルサービスを創出する各市町の協議の場を設営する。
- ③ NPO現場見学バスツアーについて、8月に100回記念ツアーを開催するとともに、半島の観光など、異業種との連携を図り、新しいプログラムを創出する。
- ④ 各市民活動支援センターの情報交換に努め、ネットワーク会議を継続する。
- ⑤ 地縁型組織とNPOの連携の方策を探る。
- ⑥ インターンシップやサービスラーニングをはじめとした、新たな教育プログラムの創出に努める。

4、組織運営

- ① 人のマネジメント； 多様な人材、経験の蓄積・定着
長く安心して働いてもらえることのできる事務局体制を作るとともに、事業企画や内容を豊かにするために、広範なネットワークを活用する。
- ② 情報交流； 会員や社会全体の課題認識、対外的な責任を果たす
会員ニーズに応えること、社会全体のためになる取組みについて、会員やNPO全体と意見交換し情報共有を促進する。
- ③ 資金マネジメント； 会費・寄付金の拡大と固定的な契約事業の拡大
事業開発や経営安定のための資金づくりは大きな課題であるが、収益率の拡大を進めながら資金獲得に努力する。
- ④ 機関・会議運営
新たに役員会を設け、理事・監事・そのほかの関係者が現場発案型の企画を検討するとともに、方針決定機関としての理事会の機能を高め、スタッフミーティングをはじめとする小刻みな事務局会議を開催し、的確な情勢判断、方針づくり、事業実施を進める。

二、特定非営利活動

	収入予定額	支出予定額
総合計	34,057,600 円	29,890,450 円
(うち公共事業)	12,962,600 円	13,122,600 円
(うち民間契約事業)	3,840,000 円	2,775,600 円
(その他自主事業)	17,255,000 円	13,992,250 円
収支差額	4,167,150 円	

*網掛けは、企画提案予定の助成金・委託事業

1.人材養成・研修事業					収入予定額	支出予定額	
事業項目／事業名	事業内容	開催時期	開催地・会場等	受益対象者	従事予定者	収入予定額	支出予定額
1-1 福祉資格講座					12,545,000 円	9,157,850 円	
① ヘルパー2級養成講座	訪問介護従事者の養成	年間1回	半田市・知多市	一般80人	役職員等2名	5,200,000 円	3,796,000 円
② ヘルパー2級養成講座		年間1回	日本福祉大学	学生40人		2,560,000 円	1,868,800 円
③ ヘルパー2級養成講座		年間1回	半田社協	一般25人		1,625,000 円	1,186,250 円
④ 通信制ヘルパー2級養成講座		年間1回	名古屋短期大学	学生20人		1,160,000 円	846,800 円
⑤ 行動援護従事者養成講座	介護福祉士受験のための対策講座	年間4回	知多市等	一般70人		1,400,000 円	1,022,000 円
⑥ 介護福祉士対策講座		年間1回	知多市等	一般10人		400,000 円	292,000 円
⑦ 介護福祉士対策講座		年間1回	知多市等	一般20人		200,000 円	146,000 円
1-2 NPO現場見学バスツアー					2,300,000 円	1,886,000 円	
① 定例バスツアー	毎月1回会員団体の現場を4か所見学するバスツアー	毎月1回	知多市発着	一般150人	役職員等2名	750,000 円	615,000 円
② オプショナルバスツアー	依頼者のニーズに応じてプログラムをつくるバスツアー	随時	各地	一般310人		1,550,000 円	1,271,000 円
1-3 NPO人材育成事業					1,080,000 円	780,000 円	
① マネジメントセミナー	NPOの実践者を講師に、NPOの運営や行政・地域との連携などについて学ぶ講座	毎月1回	知多市	一般80人	役職員等5名	80,000 円	80,000 円
② インフォマルサービス創出事業	協働ロードマップを活用し、各地域で足りないサービスを創出する関係者の協議を行い、起業につなげる	通年	知多市	関係者30人	役職員等3名	1,000,000 円	700,000 円
1-4 NPO人材育成事業(受託契約事業)					2,328,000 円	1,988,000 円	
① サービスラーニング	学生に自発的な体験学習を提供するための現場調整を行い、十分な振り返りとともに学生の成長を促す	通年	日本福祉大学	学生65人	役職員等2名	1,000,000 円	600,000 円
② 知多地域フィールドスタディ	学生に自発的な体験学習を提供するための現場調整を行う	後期	日本福祉大学	学生20人	役職員等1名	120,000 円	80,000 円
③ インターンシップ	名古屋短期大学の学生に就業体験の機会を与え、NPOへの理解を促す	後期	当法人事務所	学生6人	役職員等1名	120,000 円	60,000 円
④ インターンシップ	愛知県若手職員にNPOの就労体験を通して、NPOへの理解を深め、協働を推進する基盤をつくる	通年	当法人事務所	愛知県2年目職員14人	役職員等1名	0 円	140,000 円
⑤ インターンシップ	基礎自治体職員にNPOの就労体験を通して、NPOへの理解を深め、協働を推進する基盤をつくる	通年	知多市	市町職員2人	役職員等1名	0 円	20,000 円
⑥ 知多市協働のまちづくり事業	NPOに関する基礎講座を行い、活動者を増やし、団体運営の課題を解決する	事業契約期間	知多市	一般50人	役職員等2名	273,000 円	273,000 円
⑦ 知多市協働支援事業	コミュニティの課題を解決するために、NPOとの出会いの場を設置し、連携を促す	事業契約期間	知多市	コミュニティ役員20人	役職員等2名	230,000 円	230,000 円
⑧ 一宮市NPO講座	NPOに関する基礎講座を行い、活動者を増やし、団体運営の課題を解決する	事業契約期間	一宮市	一般20人	役職員等2名	585,000 円	585,000 円

2. 情報交流促進事業					250,000 円		774,000 円
事業項目／事業名	事業内容	開催時期	開催地・会場等	受益対象者	従事予定者	収入予定額	支出予定額
2-1 情報提供事業						0 円	410,000 円
① ホームページ	ホームページを通じて、NPOやまちづくりに有益な情報を提供する。	通年	当法人事務所	まちづくりに関心を持つ市民、NPO、企業、行政等	役職員等1名	0 円	50,000 円
② 会報発行	会報を通じて、NPOやまちづくりに有益な情報を提供する。	通年	当法人事務所	まちづくりに関心を持つ市民、NPO、企業、行政等	役職員等2名	0 円	360,000 円
2-2 情報交流事業						250,000 円	364,000 円
① 会員交流会	会員相互の懇親を図り、情報交換に機会をもつことで、NPOの発展に寄与する	通年	知多市	団体会員・個人会員	役職員等3名	20,000 円	40,000 円
② 会員リーダー研修	会員団体の代表者等による、地域福祉の先進地への視察研修を行う	年間1回	各地	団体会員・個人会員	役職員等3名	200,000 円	300,000 円
③ NPOと行政の意見交換会	テーマを設定し、関係者の協議の場を設営することで、地域の協働を推進する	通年	各地	NPO・行政	役職員等3名	0 円	0 円
④ NPO支援センター情報交換会	センター相互の懇親を図り、情報交換の機会をもつことで、NPOの発展に寄与する	通年	各地	NPO支援センター	役職員等2名	30,000 円	24,000 円

3. 研究調査・提言事業関係					3,300,000 円		3,300,000 円
事業項目／事業名	事業内容	開催時期	開催地・会場等	受益対象者	従事予定者	収入予定額	支出予定額
3-1 NPO・まちづくり研究調査提言事業(受託契約事業)						3,300,000 円	3,300,000 円
① 知多市民活動団体調査	知多市における市民活動団体を調査する	通年	知多市	知多市および知多市民	役職員各回1名	1,000,000 円	1,000,000 円
② 知多市梅まつり来訪者調査	知多市梅まつりにおける来訪者を調査する	通年	知多市	知多市および知多市民	役職員各回1名	1,000,000 円	1,000,000 円
④ 知多市男女共同参画行動計画策定事業	知多市における今後10年の男女共同参画行動計画を策定する	通年	知多市	知多市および知多市民	役職員各回1名	1,300,000 円	1,300,000 円
3-2 各種審議会・審査会・委員会等参画						0 円	0 円
① 愛知県教育振興基本計画検討会議	愛知県の新たな教育プランの検討を行う	通年	県庁	愛知県及び県民	役職員各回1名	0 円	0 円
② 一宮市市民が選ぶ市民活動支援制度審査会	一宮市1%支援制度の応募事業を審査する	通年	一宮市	一宮市および一宮市民	役職員各回1名	0 円	0 円
③ 知多市総合計画審議会	知多市における第5次総合計画策定の審議を行う	通年	知多市	知多市および知多市民	役職員各回1名	0 円	0 円
④ 尾張旭市アヤラフワのた経営プラン推進委員会	知多市における行政経営プランの進捗を検討する	通年	知多市	知多市および知多市民	役職員各回1名	0 円	0 円
⑤ 尾張旭市市民活動促進事業候補選定会議	尾張旭市における市民活動助成事業の候補選定を行う	通年	尾張旭市	尾張旭市および尾張旭市民	役職員各回1名	0 円	0 円

4. 啓蒙啓発相談事業					1,000,000 円		800,000 円
事業項目／事業名	事業内容	開催時期	開催地・会場等	受益対象者	従事予定者	収入予定額	支出予定額
4-1 講師派遣事業					200,000 円		0 円
① NPO・まちづくり講師派遣	大学、市民団体や行政・企業などが行うNPOやまちづくり講座等に講師を派遣する。	通年	当該地域の会場。	学生、NPOやまちづくりに関心を持つ市民、NPO、企業、行政等	役職員等10名	200,000 円	0 円
4-2 NPO・まちづくり相談事業					0 円		0 円
① まちづくり相談事業	住民が主体となり地域が協働して行うまちづくり活動推進のための相談やコーディネートを行う。	通年	当法人事務所及び公共施設など	まちづくりに関心を持つ行政、市民、企業等	役職員等10名	0 円	0 円
4-3 NPO・まちづくり相談事業(受託契約事業)					800,000 円		800,000 円
① 東海市NPOアドバイザー事業	東海市市民活動センターにアドバイザーを派遣し、協働提案事業や団体運営等の相談に応じる。	事業契約期間	東海市	当該NPO及びその関係者	役職員等5名	250,000 円	250,000 円
② 一宮市NPOアドバイザー事業	東海市市民活動センターにアドバイザーを派遣し、協働提案事業や団体運営等の相談に応じる。	事業契約期間	一宮市	当該NPO及びその関係者	役職員等2名	250,000 円	250,000 円
③ 長久手町協働コーディネーター事業	長久手町まちづくりセンターにアドバイザーを派遣し、協働提案事業や団体運営等の相談に応じる。	事業契約期間	長久手町	当該NPO及びその関係者	役職員等3名	300,000 円	300,000 円

5. 市民活動支援事業					11,254,600 円		11,204,600 円
事業項目／事業名	事業内容	開催時期	開催地・会場等	受益対象者	従事予定者	収入予定額	支出予定額
5-1 市民交流促進事業					3,250,000 円		3,200,000 円
① 市民カフェAda-oda	ワンデイシェフシステムのコミュニティレストランを運営する	通年	知多市市民活動センター	市民等	担当者2名	3,000,000 円	3,000,000 円
② 運動クラブふいと	知多市の障がいのある人の運動クラブ運営を支援する	月1回	知多市体育館	知多市の障害のある人	役職員等1名	250,000 円	200,000 円
5-2 市民活動支援事業(受託契約事業)					8,004,600 円		8,004,600 円
① 知多市市民活動センター相談・支援	連絡、会員管理、事業事務等事務局一般業務	事業契約期間	当法人事務所	団体会員等200名	役職員等5名	6,669,600 円	6,669,600 円
② 知多市市民活動センター清掃事業	連絡、会員管理、研修、調査、事業事務等事務局一般業務	事業契約期間	当法人事務所	移動サービス事業で活動するNPO、受益者、関係者等	役職員等5名	875,000 円	875,000 円
③ 知多市市民活動センター夜間管理事業	福祉系NPOの研修会の運営支援等を行う。	事業契約期間	当法人事務所	福祉系NPO、受益者、関係者等	役職員等5名	460,000 円	460,000 円

三、その他の事業について

実施しない

平成22年度収支予算書
平成22年4月1日～平成23年3月31日

特定非営利活動法人 地域福祉サポートちた

科目	予算案	備考
I 収入の部		
1 会費・入会金収入	100,000	$10,000 \times 6$ 5,000×8
年会費収入	800,000	$30,000 \times 5$ 15,000×35 5,000×16 3,000×15
計	900,000	
2 事業収入		
1.人材養成研修事業	12,545,000	ヘルパー講座
福祉資格講座	2,300,000	バスツアー
NPO人材育成	3,408,000	日福サービスラーニングほか
2.情報交流促進事業	250,000	交流会
3.調査研究・提言事業	3,300,000	知多市市民活動団体調査ほか
4.啓蒙啓発相談事業	1,000,000	NPOアドバイザー事業
5.市民活動支援事業	3,250,000	あーだ・こーだ ふいっと
6.知多市市民活動センター支援事業	8,004,600	市民活動支援センター業務
計	34,057,600	
3 寄付金収入	100,000	
4 雑収入	0	
5 助成金	0	
当期収入合計	35,057,600	
II 支出の部		
1 事業費支出		
1.人材養成研修事業		
福祉資格講座	9,157,850	ヘルパー講座
バスツアー	1,886,000	バスツアー
NPO人材育成	2,768,000	日福サービスラーニングほか
2.情報交流促進事業	774,000	交流会
3.調査研究・提言事業	3,300,000	知多市市民活動団体調査ほか
4.啓蒙啓発相談事業	800,000	講師派遣・NPOアドバイザー
5.市民活動支援事業	3,200,000	あーだ・こーだ ふいっと
6.知多市市民活動センター支援事業	8,004,600	知多市市民活動センター
計	29,890,450	
2 管理費		
1.人件費		
法定福利費	2,500,000	事務局員
租税公課	200,000	社会保険ほか
福利厚生費	900,000	
旅費交通費	70,000	通勤費
通信運搬費	30,000	
保険料	30,000	
消耗品費	10,000	
施設利用料	350,000	事務用品、紙等
諸会費	12,000	
会議費	80,000	団体加入年会費等
研修費	200,000	打ち合わせ、諸会議
リース料	300,000	スタッフ、役員研修
支払手数料	35,000	コピー機、ビジネスホン
備品	30,000	
雑費	100,000	
計	4,947,000	
3 予備費	220,150	
当期支出合計	35,057,600	
当期収支差額	0	

平成 22 年度 特定非営利活動法人地域福祉サポートちた役員名簿

役職	氏名	所属
理事	松下典子	特定非営利活動法人地域福祉サポートちた 理事
理事	矢澤久子	特定非営利活動法人ネットワーク大府 理事長
理事	鈴木信重	特定非営利活動法人ゆいの会 代表理事
理事	村上眞喜子	特定非営利活動法人りんりん 理事長
理事	安井洋子	特定非営利活動法人もやい 代表理事
理事	市川美千代	特定非営利活動法人あゆみ 理事長
理事	竹田加津子	特定非営利活動法人あかり 代表理事
理事	田上光大	元愛知県職員
理事	出口晋	特定非営利活動法人ゆめじろう 理事長
理事	村居多美子	特定非営利活動法人介護サービスさくら 理事長
理事	山本勝子	日本福祉大学知多半島総合研究所 副所長
理事	榎原弘美	特定非営利活動法人菜の花 理事長
理事	三島知斗世	特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズ 研究調査部長
理事	市川幸夫	日本福祉大学 職員
理事	今井友乃	特定非営利活動法人知多地域成年後見センター 事務局長
理事	岡崎佳子	日本福祉大学社会福祉実習教育研究センター 事務室長
理事	岡本一美	特定非営利活動法人地域福祉サポートちた 事務局長
理事	竹内美詠子	特定非営利活動法人地域福祉サポートちた 事務局
監事	山崎紀恵子	特定非営利活動法人絆 代表理事
監事	佐々木幸雄	特定非営利活動法人東海市在宅介護家事援助の会ふれ愛 理事長

(順不同、敬称略)